

第1回広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会（東部建設事務所管内）
議事概要

日 時：平成29年2月8日（水）10：00～11：05

場 所：東部建設事務所

出席者：別紙出席者一覧のとおり

【決定事項】

本協議会の設立趣旨、規約について決定した。

【各委員の発言】

三原市：こうした取組を期待していた。県が取り組むハード・ソフト対策の中で、市町が取り組むよい事例があれば教えてほしい。また、今回は洪水対策ということだが、今後は地震、土砂災害、津波対策についても協議していくことをお願いしたい。

事務局：他の協議会とも連携し、具体的な事項について地域に応じた課題を踏まえながら対策を協議していきたい。また、今回は洪水対策に絞って議論していくが、避難経路、場所の確認には、土砂・津波被害も踏まえていく必要がある。

福山河川：国では、危機管理型ハード対策として堤防天端を舗装することや、ソフト対策としてスマホでのプッシュ型の情報提供等を実施することとしている。

尾道市：H28.6月豪雨では、御調川や藤井川が増水したが、これまでの県の氾濫対策が功を奏した。一方で、河川内に土砂がたまり、雨が降るとすぐ増水してしまうため、引き続き県は計画的に浚渫を実施するなどハード対策も積極的に行ってほしい。また、ソフト対策は市としても取り組んでいきたい。

福山市：趣旨は賛同する。ただ、県のハード整備が進んでいない状況では、避難に対する住民意識を高めるとともに、ハード整備を加速して進める必要があるのではないかと。

事務局：「ひろしま川づくり実施計画2016」に基づき、ハード整備も着実に進め、加速も検討していきたい。

神石高原町：40mm/hrの降雨による洪水に対応できる河川の整備が進んでいないように見える。未整備区間を示すだけでなく、具体的な対応策を丁寧に説明していく必要があると考えている。

府中市：河川に土砂がたまっており、すぐ水位が高くなるため、浚渫をお願いしたい。

事務局：浚渫については計画を策定しており、それに基づき計画的に浚渫する。また、土砂の堆積状況は毎年点検していく。

世羅町：浚渫の要望が多く、市町が浚渫することはできないのか。

事務局：河川内の作業は安全面を踏まえて慎重に判断しているが、要望を踏まえて今後検討していきたい。

東部建設：ハード対策については、関係機関が連携して国に対して予算要望していきたい。また、市町との災害時の情報共有も進めていきたい。

土木建築局：ハード対策は着実に実施していくが、未整備の河川の取扱いは課題となっている。
今後も皆様と連携して取り組んでいく。

広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会（東部建設事務所管内）
出席者名簿

所 属	委員	出 席 者	備考
広島県 土木建築局	局 長	局 長	
広島県 東部建設事務所	所 長	所 長	
広島県 東部建設事務所三原支所	支 所 長	支 所 長	
三原市	市 長	市 長	
尾道市	市 長	市 長	
福山市	市 長	市 長	
府中市	市 長	市 長	
世羅町	町 長	町 長	
神石高原町	町 長	町 長	
国土交通省 中国地方整備局福山河川国道事務所	所 長	副 所 長	代 理
気象庁 広島地方气象台	台 長	台 長	